


「おおみねット（地域協育ネット）」を基盤とした家庭教育支援の取組推進

美祢市立大嶺中学校 P T A

P T A 名称	美祢市立大嶺中学校 P T A	
所在地	山口県美祢市大嶺町東分3020	
学校地域の概要・組織	<p>本校区は美祢市の西部に位置しており、美祢市役所などの官公庁が集中する大嶺小学校区を中心に、北部は重安小学校及び麦川小学校区、西部は豊田前小学校区と、広範囲にわたっている。本校の北部には、住宅地である「来福台」があり、多くの生徒がここから通学している。</p> <p>学校は美祢市街地の西部にあり、自然や史跡、文化施設などに恵まれた文教地区で、静かな落ち着いた環境にある。</p> <p>地域住民の教育に対する関心は高く、学校教育に対して協力的であり、P T A やコミュニティ・スクールとしての活動も盛んである。</p> <p>この取組の推進にあたり、「おおみねット協議会」の組織に家庭教育支援部を新たに位置づけ、美祢市家庭教育支援チームとの連携及び校種間の連携に力を入れて取り組んでいる。</p>	
研究テーマ	<p>「おおみねット（地域協育ネット）」を基盤とした家庭教育支援の取組推進</p> <p>○昨年度組織した「大嶺中学校区家庭教育支援チーム」を推進母体として、中学校区の保護者相互の横と縦のつながりの強化をめざし、各校 P T A が主体となった取組を進めた。</p>	
成果と課題	<p>〔成果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入生保護者を対象にした「子育てサロン」では、小学校区を越えた保護者同士のつながり、また、同じ小学校でまだ会話したことのない保護者とのつながりをもつことができよかったとの感想が多くあり、有意義な活動となった。 ・花生けボランティアの後に行う「花ボラプラスワン」では、スクールカウンセラーとの懇談を行った。参加した保護者は、子育ての悩みを共有するとともに、専門的な立場からの助言を受け、今後、ともに頑張っていこうという気持ちをもつことができた。 <p>〔課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少数であるが、この取組に消極的な保護者もあり、この方々にどのように参画していただくかの方策を考えることが大きな課題である。 ・美祢市家庭教育支援チームとの連携を密にし、好事例を市内全域に広めていくことが課題である。 	

活動内容

“子育てサロン”の実施

1 目的

来年度入学予定者の保護者相互及び現PTA会員との交流を通して、保護者の縦と横のつながりを強化するとともに、家庭教育に関する支援体制構築の一助とする。

2 日時

令和2年11月30日（月） 14：30～15：30

3 会場

美祢市立大嶺中学校屋内運動場

4 参加者

大嶺中学校区内小学校6年生保護者

※協力者 大嶺中学校区家庭教育支援チーム（16名）

5 次第

(1) 趣旨説明〔4分〕 【家庭教育支援担当】

(2) グループ別交流〔50分〕 【グループの進行：現PTA】

① 自己紹介

② 参加者による交流

※話題：中学校入学にあたっての疑問点や不安な点、子育てに関する悩み等

③ 各グループからの発表

(3) まとめ〔3分〕 【大嶺中学校区家庭教育支援チーム代表】

(4) アンケート記入〔3分〕

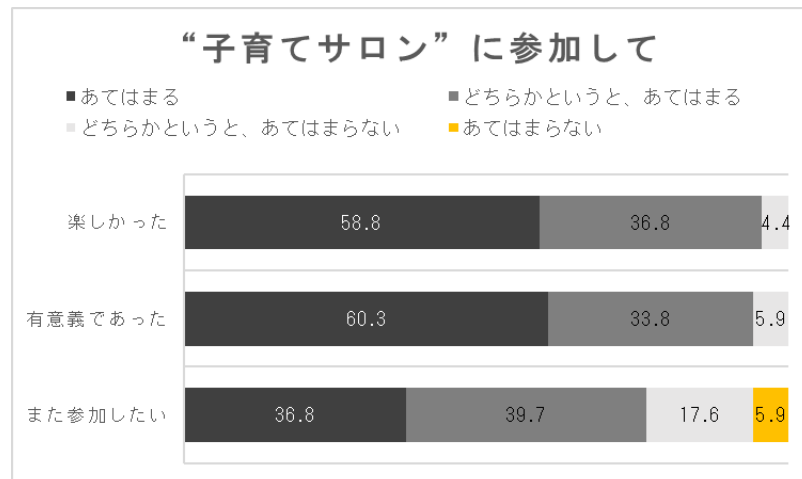
6 保護者アンケート結果

■本日の“子育てサロン”について、

(1) “子育てサロン”は楽しかったですか。

(2) “子育てサロン”は有意義でしたか。

(3) 今後も“子育てサロン”に参加したいと思いますか。



<p>活動内容</p>	<p>■ “子育てサロン” についての感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の子どもで思い悩んでいることが、「ウチの子どもだけではない」と感じて、これから頑張れる気になりました。 ・いろいろな小学校の保護者の方と話ができてよかった。 ・最初は、自分の悩みなどの話をするのは嫌だと思っていましたが、思い切って話してみると、みんな一緒だと感じました。 ・中学校入学後も、親としてのいろいろな悩みが出てくると思うので、親同士のつながりを大切にして、よい方向に進むようにしていきたいです。 ・自分と同じような悩みや不安をもっている人も多くいることがわかり、安心しました。 ・何でも学校任せにしないで、家庭内でルールを決め、親が子どもの一歩先を行って学ばないといけないと思いました。 ・携帯・スマホのことにしても、ルールが一つではないと思いました。各家庭で子どもと親がしっかり話をして決めていかないとけないと思いました。 ・初めて聞かせてもらう内容が多く、よい時間になったとは思いますが、何となく居心地が悪かったです。 <p>■ 今後、“子育てサロン” で取り上げてみたい内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も開催されるのであれば、毎回テーマを決めて話したいです。 <p>〔例〕 携帯・スマホを持たせることや家庭内のルール（デジタル化した時代への親としての対応）、 反抗期の子どもとの接し方、学習の遅れを取り戻せるか、通塾の状況、遠距離通学生の送迎</p>
-------------	---

“子育てサロン” の様子

